

▶22日 月曜

マタイ

16:1 パリサイ人やサドカイ人たちがみそばに寄って来て、イエスをためそうとして、天からのしるしを見せてくださいと頼んだ。

16:2 しかし、イエスは彼らに答えて言われた。「あなたがたは、夕方には、『夕焼けだから晴れる。』と言うし、

16:3 朝には、『朝焼けでどんよりしているから、きょうは荒れ模様だ。』と言う。そんなによく、空模様の見分け方を知っているがら、なぜ時のしるしを見分けることができないですか。

16:4 悪い、姦淫の時代はしるしを求めています。しかし、ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられません。」そう言って、イエスは彼らを残して去って行かれた。

16:5 弟子たちは向こう岸に行つたが、パンを持って来るのを忘れた。

16:6 イエスは彼らに言われた。「パリサイ人やサドカイ人たちのパン種には注意して気をつけなさい。」

16:7 すると、彼らは、「これは私たちがパンを持って来なかつたからだ。」と言って、議論を始めた。

16:8 イエスはそれに気づいて言われた。「あなたがた、信仰の薄い人たち。パンがないからだとなどと、なぜ論じ合っているのですか。

16:9 まだわからないのですか。覚えていないのですか。五つのパンを五千人に分けてあげて、なお幾かご集めましたか。

16:10 また、七つのパンを四千人に分けてあげて、なお幾かご集めましたか。

16:11 わたしの言ったのは、パンのことなどではないことが、どうしてあなたがたには、



Bible Reference  
聖書の記述

わからないですか。ただ、パリサイ人やサドカイ人たちのパン種に気をつけることです。」

16:12 彼らはようやく、イエスが気をつけよと言われたのは、パン種のことではなくて、パリサイ人やサドカイ人たちの教えることであることを悟った。

パリサイ人は律法主義者、サドカイ人は復活を信じない現実主義者でした。彼らはイエス様にしるし、すなわち奇蹟を求めて、それが出来なければ批判しようとしたのです。

イエス様は奇蹟を行う力がありました、あえてそれをしませんでした。人を驚かせて信じさせても、それは本当の信仰にはならないからです。「ヨナのしるし」、それはヨナが魚の中に飲み込まれたようにイエス様はよみに飲み込まれ、その後に復活するということです。すなわち十字架と復活を信じることがすべてであり、それ以外の奇蹟はさほど意味がないということです。

十字架と復活こそが、神様の力であり奇蹟です。この大奇蹟を、もっと喜び驚き、そして褒め称えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

